

発達障害

先生や友だちに理解してもらおう

～ともに学び育つために～

4月2日～8日は**発達障害啓発週間**です。

発達障害のある子どもが充実した学校生活を送るためには、障害について子ども自身や周囲が理解することが大切です。保護者として、本人への告知はいつどのようにすればいいのか、教師とどのようなコミュニケーションをとればいいのか、クラスの友だちには障害についてどう伝えればいいのか。保護者なら誰もがぶつかるそうした様々な悩みについて、発達障害のある子どもへの支援に詳しい専門家の解説や、保護者の“先輩”の体験談をまじえてお伝えし、考えていきます。ぜひご参加ください。

日時

2009年4月5日(日)

■開場：午後0時30分 ■開演：午後1時（終演予定：午後4時）

会場

ニッショーホール (港区虎ノ門2-9-16)

- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」下車・3番出口徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」下車・A4番出口徒歩10分

内容

第一部：講演

親の働きかけでクラスが変わる
～先生と友だちを味方に～

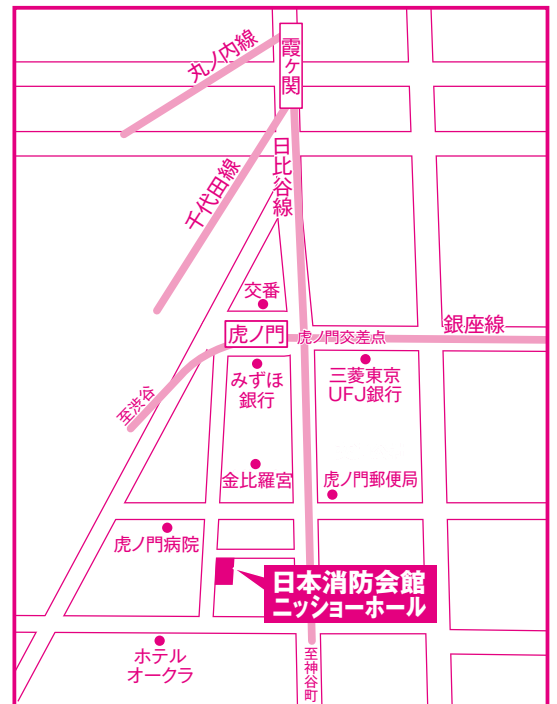
講師：田中康雄

(北海道大学大学院教授、日本発達障害ネットワーク代表)

第二部：実践紹介

本人への告知とカミングアウトの上手な方法
～わが家の場合～

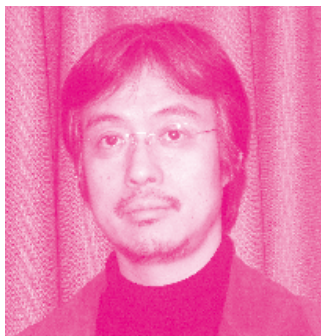
本人への告知、学校へのカミングアウトを経験した保護者が自身の体験を紹介します



※参加無料（お申し込み方法は裏面をご覧ください）

主催 NHK、NHK厚生文化事業団
共催 日本発達障害ネットワーク
後援（予定） 厚生労働省、文部科学省

講師



北海道大学大学院教育学研究科 附属子ども発達臨床研究センター教授
日本発達障害ネットワーク代表

田中 康雄

●プロフィール

1958年生まれ。獨協医科大学医学部卒業。旭川医科大学精神科神経科助手、北海道立緑が丘病院医長、国立精神・神経センター児童思春期研究室長などを経て現職。これまでに「児童虐待の防止等に関する専門委員会」（厚生労働省）、「小・中学校におけるLD、ADHD等の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン策定メンバー」（文部科学省）などを歴任。発達や情緒面に課題をもつ子どもたちに対する、家族、地域社会を巻き込んだ適切な支援のありかたについて、長年研究に取り組んでいる。

参加料
無
定員 700人

申込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

【はがき】

お名前・郵便番号・住所・電話番号・参加人数を記入し、〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 NHK厚生文化事業団「4月5日フォーラム」係 までお送りください。

【ファックス】

お名前・郵便番号・住所・電話番号・参加人数を記入し、03-3476-5956 「4月5日フォーラム」係 までお送りください。

【メール】

NHK厚生文化事業団のホームページ (<http://www.npwo.or.jp>) のこのフォーラムの募集ページに、必要事項を記入して送信してください。

お申し込みが定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※いずれのお申し込み方法の場合も、参加いただける方には参加証を郵送しますので、ご住所は番地や部屋番号までお間違えないようお書きください。

※個人情報 は適正に管理し、発達障害のフォーラムに関する連絡のみに使用致します。

FAXの場合は、下記に必要事項を記入し、そのままお送りいただいても結構です

お名前 (ふりがな)	参加人数
	合計 人
ご住所 〒	
電話番号	

お問い合わせ

NHK 厚生文化事業団

電話 03-3476-5955 (平日 午前10時~午後6時)